

ハルズサークル会員の皆様
ダイナミックオーディオ 5555 川又店長殿

日頃より弊社製品ならびに活動に温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
このたび、H.A.L.'s Circle Review が創刊以来 5000 号を達成されとの報に接し、心よりお祝い申し上げます。また、26 年にわたり継続してこられた川又店長の情熱と探究心に、深い敬意を表します。

メールマガジンという媒体がまだ珍しかった創刊当時から、読者との双方向の交流を育みながら歩みを重ねてこられたことは、まさにハイエンドオーディオ文化の貴重な歴史そのものだと思います。

SNS や動画配信が主流となった現在においても、川又店長が「文章で音を伝える」ことにこだわり続けてこられた姿勢は、特筆すべきものです。

実演によって裏付けられた確かな音質があるからこそ、その音を言葉で表現することで、読者一人ひとりの心の中に「求める音」を描き出し、他の媒体では得られない独自の価値を生み出しているのだと感じております。

弊社アクシス株式会社も、お陰様をもちまして 1988 年の創立以来、38 年にわたりハイエンドオーディオの輸出入販売に携わらせていただいております。

その長い歩みの中で、私があらためて感じているのは、オーディオという趣味の独特な魅力です。
音楽をオーディオで聴くという行為は、基本的には人間の五感のうち聴覚のみに訴えるものです。

その意味では、目で見ることのできない「音」は、ある種の不確かさを持っているのかもしれませんが。
しかし、私はその不確かさこそが、ハイエンドオーディオを奥深く、素晴らしい趣味にしているのではないかと考えています。

耳から入ってくる音に、私たち人間だけが持つ想像力を働かせる。そして、そこから色や情景、空間、演奏者の息遣いなど、さまざまなイメージを重ね合わせ、脳と心で音楽を味わう。

だからこそ私は、オーディオとは、単に音を「聴く」だけの趣味ではなく、自ら想像力を働かせて楽しむ、とてもアクティブな趣味だと考えています。

映像作品は視覚と聴覚の両方から多くの情報を与えてくれます。それに対してオーディオでは、与えられた情報が音としてのみ存在するからこそ、そこから先を自分自身の想像力で補っていく余地があります。

今日聴いた曲を、明日もう一度聴く。同じ曲であっても、その日の体調や心の持ち方によって、まったく違って聴こえることがあります。

そこには、聴く人自身の想像力や感性が深く関わっているのではないのでしょうか。

人間が持つ素晴らしい能力の一つである「想像力」を存分に働かせることができる。それこそが、ハイエンドオーディオという趣味の大きな魅力なのだと私は思います。

そして、H.A.L.'s Circle Review が長年にわたって果たしてこられた役割も、まさにこの「想像する楽しさ」を読者の皆様に伝えてこられたことにあるのではないのでしょうか。

今後も H.A.L.'s Circle Review が 6000 号、7000 号と、さらにその先へと続いていかれることを心より願っております。

弊社といたしましても、皆様の想像力をより一層刺激し、音楽を聴く喜びを深めていただけるような素晴らしい製品を、これからも引き続きご紹介してまいりたいと存じます。

これからも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。
H.A.L.'s Circle Review 5000 号達成、誠におめでとうございます。

アクシス株式会社
代表取締役社長
室井利夫